

(第1片)

(表)

年 月 日

福井県知事 様

管理者住所

管理者氏名

㊟

診 療 用 放 射 線 照 射 器 具 備 付 届

下記のとおり診療用放射線照射器具を備えるので、医療法第15条第3項および医療法施行規則第27条の規定により届け出ます。

記

病 院	名 称		
	所 在 地		電話番号 ( )
照 射 器 具 に 関 する 事 項	放射性同位元素の種類		
	物 理 的 半 減 期		
	型 式		
	1個当たりの数量(ベクレル) および個数		
	物理的半 減期30日 以下の もの	年間使用予定 数量(ベクレル)	
		最大貯蔵予定 数量(ベクレル)	
		一日最大使用予定数 量(ベクレル)	
用 途			
放射線診療 に従事する 医師、歯科医 師または診 療放射線技 師の氏名お よび放射線 診療の経歴	氏 名	職 種	放射線診療に関する経歴
予 定 使 用 開 始 時 期		年 月 日	

使用室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	使用室名			
	建築物の構造		耐火構造 ・ 不燃材料	
	使用室の防護物の概要	遮へい物 遮へい物を設ける場所		構造、材料、厚さ
		天井		
	床			
	周囲の画壁等	壁		
		出入口の扉		
		その他の開口部		
出入口の数		通常出入口 箇所 非常口 箇所		
使用室の標識		有 ・ 無		
治療病室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	建築物の構造		耐火構造 ・ 不燃材料	
	遮へい物 遮へい物を設ける場所		構造、材料、厚さ	
	治療病室の防護物の概要	天井		
		床		
	周囲の画壁等	壁		
		出入口の扉		
		その他の開口部		
	出入口の数		通常出入口 箇所 非常口 箇所	
治療病室の標識		有 ・ 無		

貯蔵施設の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	貯蔵の方法		貯蔵室・貯蔵箱・その他( )
	貯蔵室または貯蔵箱の場所 a		別添図面のとおり
	貯蔵施設の構造		鉄筋コンクリート・金庫・その他( )
	貯蔵施設の遮へい材料		
	貯蔵室の 出入口の 構造	出入口の数	通常出入口 非常口 箇所 箇所
		特定防火設備に 該当する防火戸	有・無
		閉鎖設備	かぎ・その他( )
	貯蔵箱の閉鎖設備		有・無
	貯蔵容器の遮へい材料		
	貯蔵物の種類および数量の表示		有・無
貯蔵施設の標識		有・無	
運搬容器の放射線障害設備の概要の防止に関する構造	容器の構造		
	貯蔵物の種類および数量の表示		有・無
	容器の標識		有・無
使用室の放射線障害の防止に関する予防措置の概要	放射線障害防止に必要な注意事項の掲示(患者用・従事者用)		有・無
	画壁等外側の実効線量が1ミリシーベルト/週以下となる措置		有・無
	管理 区 域	管理区域を設ける場所	別添図面のとおり
		境界における実効線量が1.3ミリシーベルト/3月以下となる措置	有・無
		立入制限措置	有・無
		標識	有・無
	敷地の境界等	敷地内居住区域および境界における実効線量が250マイクロシーベルト/3月以下となる措置	有・無
		入院患者(診療により被ばくする放射線を除く)の実効線量が1.3ミリシーベルト/3月以下となる措置	有・無
	その他	取扱者の被ばく測定器	

注意事項

- 1 当備付届は、照射器具を備える前に、あらかじめ届け出ること。
- 2 「放射線診療に関する経歴」は、医師、歯科医師または診療放射線技師の免許登録番号および年月日を記入すること。
- 3 隣接室名、上階および下階の室名ならびに周囲の状況を明記した診療用放射線照射器具使用室、治療病室および貯蔵室の平面図および側面図を添付すること。
- 4 診療用放射線照射器具使用室、治療病室および貯蔵室の図面は、その各室ごとに線源の中心から天井、床および周囲の画壁の外側までの距離（メートル）ならびに防護物の材料および厚さを記入した見やすい縮図とすること。
- 5 管理区域の標識等の位置を使用室図中に記入すること。
- 6 漏えい放射線測定結果報告書の写しを添付すること。
- 7 装置の性能等を記した仕様書またはカタログ等を添付すること。